

地産地消の勉強をした

1月29日の4時間目に、えいようきょうゆの橋本先生が来てくれて、高知県の野菜のことや地産地消のことについて勉強しました。

まず、クイズをしてくれました。箱の中には、高知県で作っている野菜が入っていました。一つ目は、『黒くて丸い形をした野菜』でした。わたしは、『ナス』だとすぐ分かりました。二つ目は、『でこぼこしていて、きらいな人もいるかもしれない。色はおうど色』でした。わたしは、『なんだろう。ごうやかな？』と思いました。正かいは、『しょうが』でした。このしょうがは、高知県が全国で一番多く作っている野菜でした。

次に、高知県は、全国で7番目に多く野菜を作っていると聞いてびっくりしました。さらに、自分の県で作った野菜を自分の県で食べている順位は22番だと知りました。

これからも、おいしくて安全な高知県の野菜をみんなもどんどん食べて、食べる量をふやして、22番から10番いらないに上がったらいいなと思います。

(伊与喜小学校 3年 森田未来)



学校のソーラーパネル

ぼくたちの校舎にはソーラーパネルがついています。天気がいい日には2万ワットも発電できるそうです。2万ワットといってもピンとこないかもしれないって、校長先生がこの前朝礼で具体的に話してくれました。蛍光灯は1本20ワットだそうです。



…ということ、このソーラーシステムで一度に1000本もの蛍光灯をつけることができるそうです。私たちの学校で発電できるようになったことは素晴らしいことだと思います。蓄電器もあるので災害時には、地域のみならずののためにも活用されます。こんな言い方をするのは、はずかしいけど三浦小学校は今「すごいろう。」とみんなに自慢できることがたくさんあります。

(三浦小学校 6年 吉福大貴)

紙すき体験

1月28日に5・6年生で「紙すき体験」をしました。この「紙すき」は拳ノ川地区伝統の若山楮を使って行いました。

最初に、若山楮学習でお世話になっており中島久実子さんから説明を聞き、ちりとり作業をしながら紙すきをすることになりました。何人か紙すきが終わって私の番になりました。わくわくしていたけど、ちょっとドキドキしました。わく

をふねの中に入れて持ち上げると、けっこう重たかったのでびっくりしました。何回もわくをふねの中に入れてゆらし、持ち上げてわくをななめにして水をぬきました。それからわくを裏にして、慎重にゆっくり紙をはずしました。無事にできたので、ホッとしました。

難しかったけど、2枚ともきれいできてよかったです。自分のすいた紙が卒業証書になるので、卒業式でもらえるのが楽しみです。

(拳ノ川小学校 6年 大谷 萌)

